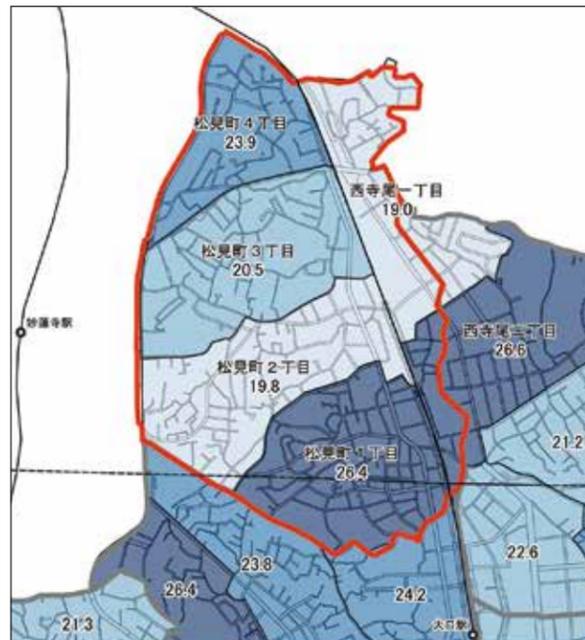
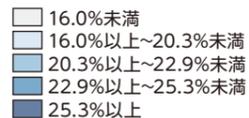


高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

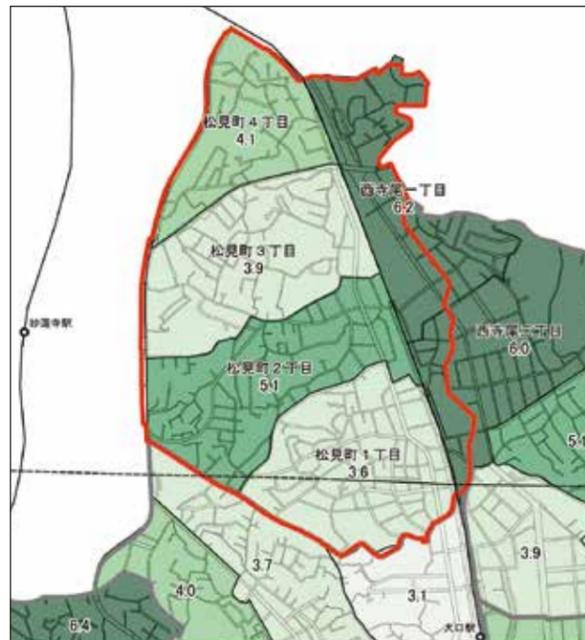
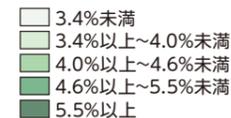
高齢者(65歳以上)比率(%)



未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

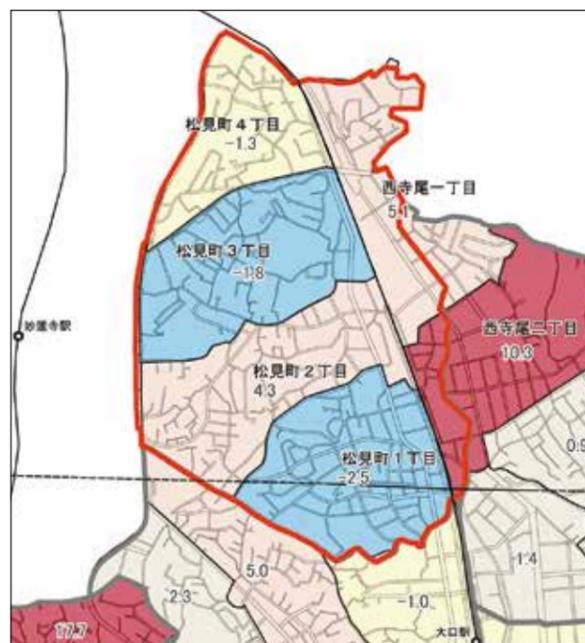
未就学児(0～5歳)比率(%)



人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)
 ※区の未就学児(0～5歳)の比率は、**4.5%**です。(令和3年3月時点)
 ※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)
 ※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。
 ※人口増加率は、町丁目別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。
 ※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

この計画は、住み慣れたまちで安心して暮らせることを目指し、地区内の様々な人・団体の想いが込められています。

区の計画や他地区の計画は、区HPをご確認ください▶



笑顔であいさつ松見町 住んでよかった松見町

- 地区センター・公会堂・集会所等
- スポーツ施設
- 地域ケアプラザ
- 小学校
- 中学校
- 盲特別支援学校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



地区概要

起伏のある住宅地です。地区内を横浜線が通っており、西側は港北区に接しています。戸建て住宅が多い地区です。地区の南側に、横浜市立盲特別支援学校があります。

人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	松見地区	神奈川区
総人口	11,792人	241,561人
0～14歳	1,350人(11.5%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	7,776人(65.9%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	2,666人(22.6%)	53,136人(22.0%)

	松見地区	神奈川区
総世帯数	6,118世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.93人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	859世帯(14.0%)	18,089世帯(14.0%)

これまでの取組と今後に向けて

- 地域のボランティア活動による支え合い活動が活発に行われており、助け合いの仕組みづくりがすすめられています。
- 食事会やサロン、各種行事などが盛んに行われ、地域に根差した交流が継続しています。
- 災害時要援護者支援やふれあい活動を通じて、いざという時に備えた取組を各地域がすすめています。
- 今後は、住民の入れ替わりや世代交代も踏まえ、これまでの取組を継続、拡充していくために「顔の見える関係づくり」を改めて意識しながら地域の担い手を発掘していきます。
- これまで地域ケアプラザや区社協、行政など関係機関とも連携して地域活動を行ってきました。今後も引き続き協力して活動していきます。

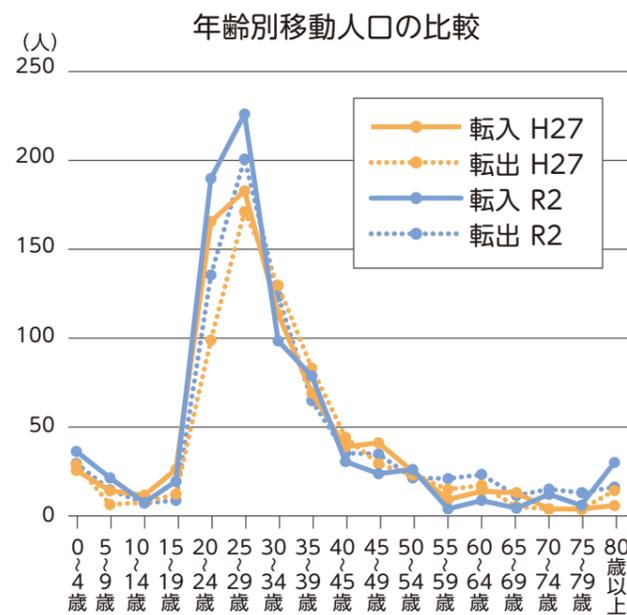


▲令和3年8月に開催した絵画展

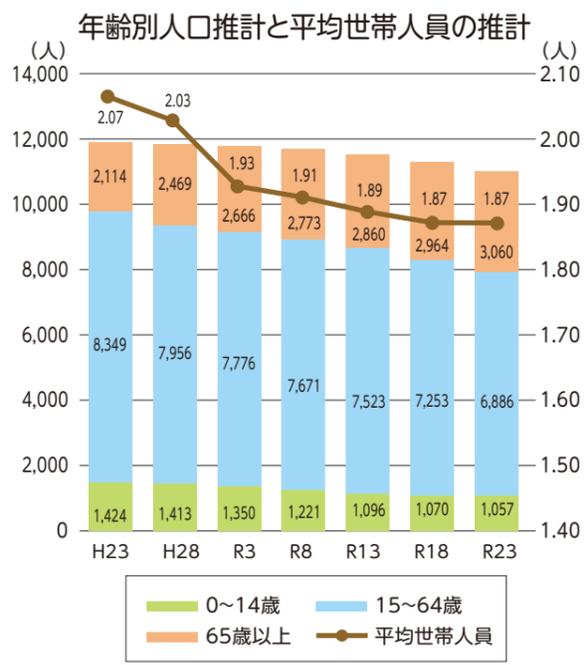


▲絵画展が開かれた八幡神社

地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

笑顔であいさつ松見町 住んでよかった松見町

目標1 支え合いの仕組みと場をつくる

ちょっとした困りごとを地域のボランティアで支え合い、身近な隣近所・班の普段の付き合いから助け合える仕組みをつくる。

- 地域ニーズに沿った活動となるために、住民の困りごとに関する現状把握を丁寧に行う。
- ボランティア活動が地域に浸透するよう、継続的に住民へ情報提供を行う。
- 新たな担い手を発掘し、活動に生かせる知識を継承しながら、世代交代をスムーズにすすめていく。



▲ボランティア活動

目標2 災害時の対応を充実させる

単町レベルでの自主防災組織の活動をさらに活性化させ、災害時の共助の仕組みをより一層充実させる

- 地域の「災害時要援護者支援事業」「一人暮らし高齢者地域で見守り推進事業」等の活動を通じて、要援護者の把握を行い、発災時に備えた体制づくりを整える。
- 単町ごとに「共助」が機能するよう、普段から身近な人同士、顔の見える関係づくりをすすめる。



▲安否確認訓練

目標3 魅力ある行事を通じて地域の絆を強める

松見地区に深く根付いた3大行事(福祉演芸大会・盆踊り・ふるさとまつり)を継承しながら、単町での魅力的な行事をさらに充実させる。

- 食事会やサロン、お楽しみ会、趣味サークル等の活動を企画・運営し、多様な世代が交流できる場づくりが提供できるよう、地域でバックアップをする。
- 行事を通して、住民が地域活動に触れる機会を増やし、松見地区への愛着を持ってもらう。



▲松見地区福祉演芸大会